

「名古屋美人」の作り方

名古屋・ビューティ界の第一人者、鈴木文代さんに、名古屋美人になる秘訣を教えてくださいました。



ふみ美容アカデミー 理事長 鈴木文代さん

いつまでも美しくあるために…。と、美容の研究・実践を手がけて40年以上。母、美容家、事業家の3つの顔をもつ女性。かつては予備校、現在は通信制高校を経営し、東海ラジオでは教育番組のメインコメンテーターを1年間務めたことも。また、教育関連セミナーや、福祉ボランティア活動なども手がけ、全国を飛び回る毎日。

人は人と交わって、磨き上げられるもの。
「出会い」と「感謝」を忘れないことが、
本当の美人を作る『礎』に。

取材・文/中島典子(m&mLABO) 撮影/アラキシン D/山岸 彩(PLANETS)

名古屋の女の子が大好きな「ブランド品」その本質が意味するものは？

「名古屋の女の子はブランド品が大好き!」。これは一般的によくいわれることですね。バッグ、靴、コートにアクセサリ…。栄の街中を歩いていても、今の時代、ブランド品を身につけていない人を探すほうが難しいことかもしれませぬ(笑)

でも、残念ながら、ブランド品を上手に自分のファッションに取り入れていない方も多く見受けられます。もしかしたら、その方たちは「ブランド品は自分のステータスをアップさせてくれる道具」だと勘違いしているのかもしれない。確かに「ブランド品」を持つ、そのステータスが瞬間的に手に入る。自分のステータスが上がった気分になる。この、一時のステータス、的な気持ちは、ブランド品がもつ本質的な意味も知らずに感じる、一過性のまやかかしなのです。賢明な女性ならもうおわかりでしょう。いくら高価なブランド品を身につけていても、自分自身がブランド品とつながらなければダメなのです。ブランド品と対等に向き合えるだけの自分を創りあげることこそが大事。そのためには、キチンと、丁寧に毎日を生きることです。バランスのいい食生活、思いやりをこめた肌のお手入れ、

自分が心地よく感じる生活サイクル。毎日、24時間を丁寧に過ごすことが、自然とブランド品以上の個性あふれる「女性」を創りあげ基礎となっていくものなのです。

名古屋嬢の自分磨きは、この地の気質を知ることから。知識・教養がキレイの源に

全国を飛び回っていると、ふと感じることがあります。「名古屋の人は独特の考え方ももっているんだなあ」と(笑)。

名古屋に縁のある歴史上の人物をひも解いてみると、名古屋の人々の気質がよくわかるものです。たとえば戦国時代の3大英雄「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」。この3人はみんな尾張・三河の出身ですね。彼らがいたからこそ、今の日本があるとも言えるのではないのでしょうか。そして、名古屋の人ならきつと心の底で思っているはず。「ほらね!名古屋の人はすごいのよ!」(笑)。

そんな名古屋の雄が築いた戦国時代。興味深く探求していくと、「女性としてキレイになるためのヒント」を見つけている事だてできるものなのです。

戦国時代は男性の時代だと思われがちですが、その根底を支えていたのは女性達。戦国の時代、彼女らも生死をかけた生活をしてい

ました。戦国の世の女性は自分を磨き、男を育てる。そして、自分自身も強く優雅に生きる。まさしく才色兼備を体現する存在だったのかもしれないですね。

このように450年以上もの時を経て、なお、彼女たちの生き様に新鮮さを感じるのは、その生き方が本物である証拠。このように本物・一流に触れることで、教養や知識が育っていくものなのです。

人は人に会ってさらに磨き上げられるもの。一期一会を大切に

丁寧に生活する、歴史や一流のものから教養を磨く…そんな行動が、名古屋美人、を作る基礎です。美人がもつ輝きだす秘密があります。それは人とのかわり方を磨き上げること。

言うまでもなく、人はひとりでは生きていけません。人と交わるために、人は自分を磨き、交わることで成長するともいえます。これを私は「出会い→見極め→人脈→人徳」と名づけています。誰と出会い、会った人をもっと見極め、いい人脈を作り、人徳(ありがと)を得る。このサイクルが回り始めると、確実にあなたがハッピーへと変わっていきます。人にありがとつと言われること、周囲へ気配りを忘れないことが、本当の名古屋美人を作るコツなのです。

ふみ式 心ゆたかな「名古屋美人」を作る 3つのヒント

1 本物・一流に触れる、知る

本当にいいものに触れる機会が知性・ふるまいを磨きあげる

建築物、絵画、美術品、音楽、グルメ…。一流を見聞きするからこそ、本物を見る力が育まれるもの。「これは、モノでも同じです。また一流に触れることで、その空気感や雰囲気にもまれたい自分を目指すこともできます」。TPOをわきまえた名古屋美人になるためには、本当にいいものに触れる機会をもつこと。



デスクサイドには柿右衛門を。「色使いがまさに一流。優雅な気持ちになる色です」

2 気配り上手を目指す

よく気がつく女性は、女度もUP。気配り上手さんの真似から

気配りができるかどうか、というのも、女性としての才能のひとつ。「ことわざで、『朱に交れば赤くなる』といいますがこれは本当。自信がない人は、「気配り上手だな」と思う人のそばで、観察することから始めてみましょう。何か学ぶことが見えてくるはず」。教養、感性が磨かれた女性ほど、行動力があり気配り上手だとか。

3 名作映画や歴史を学ぶ

名作と称された映画や歴史から美しく生きるヒントを得る

名作といわれる映画には監督、俳優、デザイナーの際立つ考え、センス、セリフがちりばめられているもの。これらを参考にすることで、美しく生きるためのヒントが得られるかも。「また歴史を学ぶことで、ストーリーだけでなく女の生き様なども学べますし、女性としての知性もアップ。周りから一目置かれる人を目指せます」